



遊びがマナー化してくる！？



お布団マットで山登り



布団やタオルを折って山のように重ね、ハイハイで登る運動遊びです。でこぼこの道をハイハイすることも楽しい遊びの一つです。子どもに手を添えながら、ころころ転がしてあげてもよいですね♪

小さい頃は特に遊びのレパートリーが限られてくると思います。ここでは、お家の中にあるものを使った遊びを紹介します!!



布を使っとうえからしたから

“おらべうた”は、お子さんと親御さんが触れ合って遊ぶ“あそびうた”です。歌声に反応して、自発的に動くことで、身体機能の発達により影響を与えることも考えられています。

ガーゼやスカーフなど薄くて軽い布を使ったわらべうた遊びです。布を目の前で揺らしたり、子どもの顔や身体にかぶせたりして楽しむことができます。顔に布をかけた後「いないいないばあ」と笑顔を見せる子もいます。繰り返しているうちに、布や風の感触を喜んだり、「ばあ」に期待したりするようになります。「手を伸ばして取れるかな?」「顔にかかった布を外せるかな?」と今の“できる!”を知る目安にもなるかもしれませんね!

♪うえから したから おおかせこい こいこいこーい

参考にしてみてください♪

どんな絵本を選んだらいい? (年齢別)



- ☆0歳児 (10か月頃～) …「食べ物や動物、乗り物など身の回りのものを描いた絵本」
→生活の中で目にしている本物が登場することで、赤ちゃんの絵本への興味は高まると言われています。
- ☆2・3歳児 …「子どもの日常生活に寄り添った絵本」
→子どもが絵本の主人公に自身を重ねて思わず共感し、親子でクスツと笑ってしまうかもしれません。
- ☆4歳児 …「出版されてから20年以上、子どもたちに喜ばれてきた絵本」
→古びることなく子どもたちに愛されてきた一過性の流行ではない作品を選んであげることも大切です。
- ☆5歳児 …挿絵を手がかりに想像力を膨らませることのできる絵童話
→大人に読んでもらって、挿絵を手がかりに想像力を膨らませることで、絵本と同じように、読み物の面白さを子どもは知ることができるかもしれませんね。

